

お元気ですか



新屋敷事務所: JR円行寺口駅前 823-5878
あぞの事務所: 846-2046 県議会 823-9524
北本町事務所: 北本町1丁目13-3上雅ビル1F

9月県議会 牧野植物園や交通公園など、県施設料金値上げに反対 どうなる「特定利用港湾」北海道、九州、沖縄で日米共同演習へ

日米軍事訓練 日米4万5千人動員

防衛省は10月23日から11月1日の期間で米軍と自衛隊が共同統合演習をすると発表しました。総選挙の最中、石破新政権は着々と有事を想定した軍事訓練を行い、戦争できる国へ突き進んでいます。日米双方から4万5千人が軍事訓練、艦船は約40隻、航空機は約370機が参加するとしています。

高知でも日米軍事訓練の危機高まる

今回の大規模な日米軍事訓練が行われる場所は、国が自治体と指定・協定を結んだ「特定利用港湾・空港」などです。



高知の宿毛湾港・須崎港・高知港は今回の訓練には含まれておりませんが、石破政権、中谷防衛大臣のもとでは高知の港がいつ、日米軍事訓練の拠点になってもおかしくなく、危機が高まっています。

防衛省幹部は民間施設の利用について、部隊を広く展開することが必要として「自衛隊や米軍の施設だけでは不十分」と発言しています。

空港予算2倍、一方、施設料金値上げへ

9月議会が閉会。日本共産党県議団は、県民が広く使用する施設料金の値上げは県が物価高騰分を負担するべきと求め、またメタンガスが出続けている夢洲での大阪・関西万博出店予算を反対、修正案を提出しましたが、自公などに反対され否決。しかし、その他の予算に四十万食肉センターの建替え工事費など畜産業や漁業また、地域に必要な道路整備予算などが含まれており、最終的には、補正予算の原案に賛成しました。

おたまじゃくし

風が通る秋、あぜ道にしゃがみ込んで彼岸花を摘む、農家のおばちゃんが「気をつけて帰りよ」と言う。

子どもの頃、おやつは近所の農家さんがくれた、サツマイモや柿。暑い日も寒い日も、畑仕事をしている。この労働によって、人類は生きているのだ。

土佐市の産廃問題は、地域の農業を壊すかもしれない。なぜ、農用地の真ん中に住民が知らないままに建設されたのか。住民無視はダメと県は、指導要綱を作ったが守っていないのに「違法でない」と県も事業者も論点をずらす。産廃事業も人間生活になくなくてはならない産業であるが、一方の農業がリスクを負う。「こんな不公平な状況をいいと思いますか」と知事に問う、「一般論としてある」と言うだけで産業同士が対立し苦しむことへ理解を示さず答弁を逃げた。

岩戸米生産者の声を紹介した「突然できた煙突に驚いた。僕たち今農家は苦しい中でやりゆうけど、消費者に見切りをつけられる、あの目に見える怖さというのはいつも感じております。」と。



一問一答 土佐市産廃問題を追及 知事「検証の必要なし」と逃げる

県「指導要綱みださず」認める

本会議で土佐市のブランド米、学校給食米など、特別栽培エリアに産廃の焼却施設が出来た事に対し住民は、「この場所での焼却事業は環境や農業に悪影響」だと中止を求めている。又、県から2千5百万円の補助金が出ているが、県の産業廃棄物処理指導要綱の規定、住民同意が無い。補助金返還の可能性があると指摘、知事に対して補助金の検証を求めた。

知事「違法とまで言えない」

濱田知事は、指導要綱を満たしていない事は残念と答弁するが、補助金返還を求めると県が責められる恐れがあるとし、検証するに値する理由が今はないと答えた。県のルールを守らずに県の補助金を出す事は問題である。知事の責任は大きい。

無料 生活・法律相談会

- ☆10月20日 午前10時～12時
新屋敷事務所 血田幸恵・弁護士
- ☆10月16日 午後18時～20時
あぞの事務所 南拓人・弁護士

*あぞの予約先: 090-1171-4156